

Weekly コラム

平成 29 年 5 月 24 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

フリーランス ～いずれはドクターX？

4 月、フレッシュヤーズが新社会人で眩しい華やかな季節となりましたが、昨今ではフリーランスなどの「雇用関係によらない新しい働き方」が注目されています。こうした働き方の選択肢が増えることにより、働き手の時間やスキルの最大限の活用を可能とし、また、企業においても多様な人材の確保に繋がることが期待されています。昨年秋に放送されたフリーランスの女性外科医が活躍するテレビドラマでも、「フリーランス」という言葉は注目されていたかと思えます。

こうした働き方に関して現状と課題を把握し、今後の方向性を検討するため、経済産業省では昨年 11 月から有識者による「第 1 回『雇用関係によらない働き方』に関する研究会」を開催、本年 2 月 6 日には第 3 回目を開催しました。今回の研究会では、実際にフリーランス等を活用している企業からの事例を具体的に公表しています。実際にフリーランスなど外部人材を活用している企業をヒアリングした結果、活用のメリット・デメリットについては、主に表のような意見が挙げられました。

また、同研究会資料の中にある「平成 28 年度産業経済研究委託事業(働き方改革に関する企業の実態調査)」によると、約 200 社を対象に実施したアンケート調査の結果、フリーランス等外部人材を活用している企業は 2 割弱(18.9%)。現在は活用していないが、今後の活用を検討している企業は 33.5%。両者を合わせ

ると半数以上(52.4%)の企業がフリーランス等の活用に前向きであることがわかります。

ただ、現状ではこの働き方が普及するためには社会保障の問題が大きなネックとなりそうです。働き手が企業側と雇用関係にあることを前提とした現在の社会保障が、何らかの形で改良された時、フリーランスという働き方が労働者の重要な選択肢の一つとなるかもしれませんね。

メリット

- ・ 企業内では確保できない専門性の高い人材を得られる
- ・ 必要な人材を必要な期間にオンタイムに得られる
- ・ 雇用者と比べ、必要な費用がかからない(社会保障・人材育成費を含む)
- ・ (外部人材からの)新たな課題・解決策の掲示等により、成果物の品質が、発注時の期待よりも上回る場合がある。

デメリット

- ・ 事業継続性に対するリスクがある(専門性が高い故に、人材が非代替的になりやすい)
- ・ 情報漏洩の可能性がある
- ・ 雇用者と比べ発注時や業務進捗管理時においてコミュニケーションコストがかかる
- ・ 自社人材の成長する機会が失われる



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。